

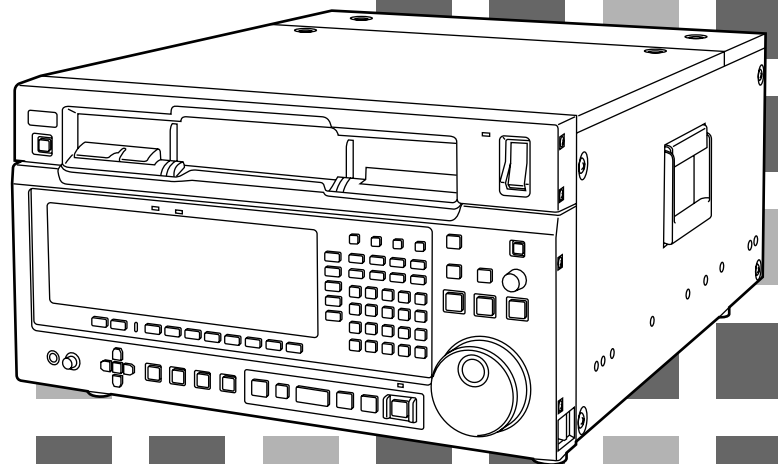
# Panasonic



Digital Video Cassette Recorder

AJ-**HD3700H**

**取扱説明書**  
(サブリメント1)



# 変更・追加内容の概要

本サプリメントは、デジタルビデオカセットレコーダ AJ-HD3700H の取扱説明書に対して変更・追加内容を知らせるものです。

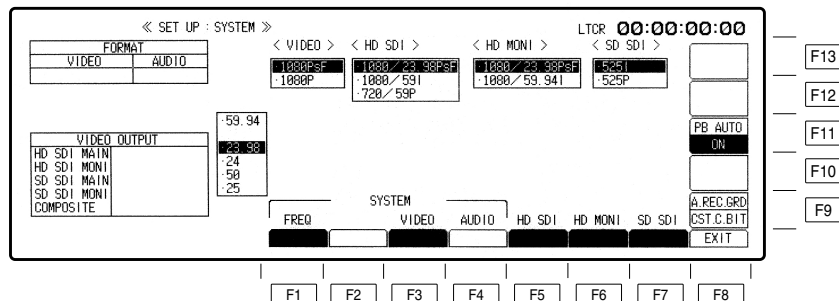
## 今回変更・追加された内容

該当項目	変更・追加点	AJ-HD3700H の取扱説明書 該当ページ	本書の ページ
記録	システム周波数の追加	ハードウェア編 27 ページ	3 - 4
HOME	システム周波数の追加	ソフトウェア編 8 ページ	5
VIDEO IN	INT-SG 同期	ソフトウェア編 22 - 23 ページ	6 - 7
TC/CHR	TC コンバート機能	ソフトウェア編 70 - 73 ページ	8 - 11
TC/CHR SET UP	F6 (COUNTER) キーの削除と TC SYNC 値	ソフトウェア編 76 - 77 ページ	12 - 13
TC/CHR CONVERT	メニュー内容の変更	ソフトウェア編 81 ページ	14 - 15
SYSTEM SET UP	True-P (Non PsF) 信号インターフェースの追加	ソフトウェア編 135 - 137、 140 ページ	16 - 19
TEST IC CARD	日付・時刻の登録方法	ソフトウェア編 161 ページ	20 - 21
TEST IC CARD ERROR LOG	F7 (REAL TIME) キーの追加	ソフトウェア編 166 ページ	22

# 記 録

デジタル外部機器から、本機に入力されるデジタル信号を記録する操作のフローチャートです。

1. 接続を確認します。
2. 電源を入れます。
3. 本機にカセットテープが挿入されていないことを確認した後、SYSTEM SET UPメニューの F1 (FREQ) キーでシステム周波数 59.94、23.98、24、25、50 を設定します。



周波数の切り替えは、**[F]** キーと **[F1]** キーを2つ同時に押すと設定可能状態になります。カーソルキー (▲、▼) で周波数を選択し、**[BS]**、**[ENT]** キーを同時に押すと周波数が確定します。59Hzモードの場合はさらに選択ウィンドウが表示されます (1080i/525i/720p)。カーソルキーでフォーマットを選択し、**[BS]**、**[ENT]** キーを同時に押してフォーマットを確定します。1080i、720p フォーマット選択時はさらに音声 4ch/8ch どちらかのフォーマットを選択し、**[BS]**、**[ENT]** キーを同時に押してフォーマットを確定します。

23.98Hz、24Hz、または25Hzモードの場合は、VIDEO信号インターフェースをPsF/Pのどちらかを選択するウィンドウが表示されます。カーソルキー (▲、▼) で選択し、**[BS]** キーと **[ENT]** キーを同時に押すとフォーマットが確定します。HD MAIN出力とHD MONI出力フォーマットも同じようにカーソルキー (▲、▼) で選択し、**[BS]** キーと **[ENT]** キーを同時に押すと確定します。

(各映像出力端子の出力は下表の組み合わせが可能です。ただしAJ-UDC3700Pオプション装着時)

・フォーマットコンバータ装備時出力

システムフォーマット	HDTV出力		SDTV出力		
	HD_MAIN	HD_MONI	SD_SDI_MAIN	SD_SDI_MONI	アナログコンポジット
1080/59.94i*1	1080/59.94i	1080/59.94i	525/59.94i	525/59.94i	NTSC
720/59.94p	720/59.94p	720/59.94p	525/59.94i	525/59.94i	NTSC
	720/59.94p	720/59.94p	525/59.94p	525/59.94i	NTSC
1080/23.98p、PsF	1080/23.98PsF	1080/23.98PsF	525/59.94i	525/59.94i	NTSC
	1080/23.98PsF	1080/23.98PsF	525/59.94p	525/59.94i	NTSC
	1080/23.98PsF	1080/59.94i	---	---	---
	1080/23.98p	1080/23.98p	525/59.94i	525/59.94i	NTSC
	1080/59.94i	1080/59.94i	525/59.94i	525/59.94i	NTSC
	1080/59.94i	1080/59.94i	525/59.94p	525/59.94i	NTSC
	720/59.94p	720/59.94p	525/59.94i	525/59.94i	NTSC
	720/59.94p	720/59.94p	525/59.94p	525/59.94i	NTSC
1080/24.00p、PsF	1080/24PsF	1080/24PsF	---	---	---
	1080/24PsF	1080/60i	---	---	---
	1080/24p	1080/24p	---	---	---
	1080/60i	1080/60i	---	---	---
	720/60p	720/60p	---	---	---
1080/25p、PsF	1080/25PsF	1080/25PsF	625/50i	625/50i	PAL
	1080/25p	1080/25p	625/50i	625/50i	PAL
1080/50i*2	1080/50i	1080/50i	626/50i	626/50i	PAL
480/59.94i	1080/59.94i	1080/59.94i	525/59.94i	525/59.94i	NTSC

メニューの出し方  
 ・SYSTEM SET UPメニュー  
**[SET UP]** **[F4]**

\*1 1035/59.94iフォーマットは本機では記録することはできませんが、AJ-HD2000等で記録されたテープを再生することは可能です。  
 \*2 1080/23.98p、1080/24p、1080/25pテープを再生し、自動的に1080/50i出力することも可能です。

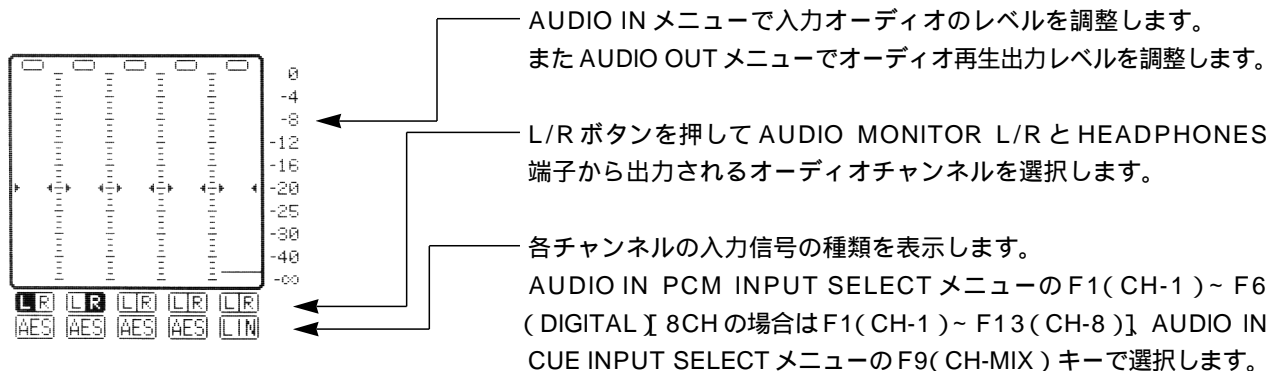
# 記 録

---

- ・ 1080/23p、24p、25p True-P (Non PsF) システムフォーマット時の REF 同期仕様は、PsF システムフォーマットと同じ仕様です。HD3 値 SYNC は、インターレース形式の信号を使用してください。
- ・ True-P (Non PsF) 入出力インターフェースは、EMBEDDED AUDIO/TC/VANC には対応していません。
- ・ True-P (Non PsF) 出力は、ENHANCE や FILTER RESPONSE の画質調整が動作しません。
- ・ True-P 信号での HD モニター出力には、スーパーインポーズを行いません。
- ・ PsF 信号を PsF システムフォーマットで収録した後、True-P システムフォーマットで再生すると、PsF 信号 True-P 信号変換が可能です。逆に True-P 信号を True-P システムフォーマットで収録した後、PsF システムフォーマットで再生すると、True-P 信号 PsF 信号変換が可能となります。
- ・ 1080/25PsF システムフォーマットで 1080/50i 信号を収録すると、映像がブレた収録となりますのでご注意ください。

# HOME メニューの表示

オーディオ信号表示部 (フォーマットに応じて、8CHまたは4CHを自動的に表示します。)



- ┌ ANA : ANALOG INPUT 端子からの信号。
- CH1 AES : DIGITAL AUDIO INPUT 端子からの信号。
- └ }
- CH8 SER : シリアル V/A 入力端子からの信号。
- ┌ INT : 内部の信号発生器からの信号。
- └ LINE : CUE IN 端子からの信号。
- CUE MIX : CUE MIX の設定で CH1 ~ CH8 の選択された信号。
- ┌ AUTO : 常にデジタルチャンネルのバックアップ用となります。

## 表示ランプ



- SYSTEM : SETUP/SYSTEM メニューで設定した VIDEO SYSTEM フォーマットを表示します。  
1080\_59i, 525\_59i, 1080\_23psf, 1080\_23p, 1080\_24psf, 1080\_24p, 720\_59p, 1080\_50i, 1080\_25psf, 1080\_25p
- TAPE : 再生テープフォーマットを表示します。  
EJECT 状態では\*\*\*\*\*表示  
無記録部分などのフォーマットが判別出来ない場合は、それまでのフォーマット表示を保持したまま点滅をします。  
1080\_59i, 1080\_60i, 1035\_59i, 1035\_60i, 525\_59i, 1080\_23p, 1080\_24p, 720\_59p, 720\_60p, 1080\_50i, 1080\_25p

### < ノート >

システムを 1080/23.98psf または 1080/23.98p に設定して記録されたテープは同一テープフォーマットとして記録され、再生時は「1080\_23p」とフロントパネルに表示されます。同じように 1080/24psf、1080/24p システムでの収録テープは、「1080\_24p」としてフロントパネルに表示され、1080/25psf、1080/25p システムでの収録テープは「1080\_25p」とフロントパネルに表示されます。

メニューの  
出し方

• AUDIO IN メニュー

AUDIO IN

• AUDIO IN PCM INPUT SELECT メニュー

AUDIO IN F6

• AUDIO OUT メニュー

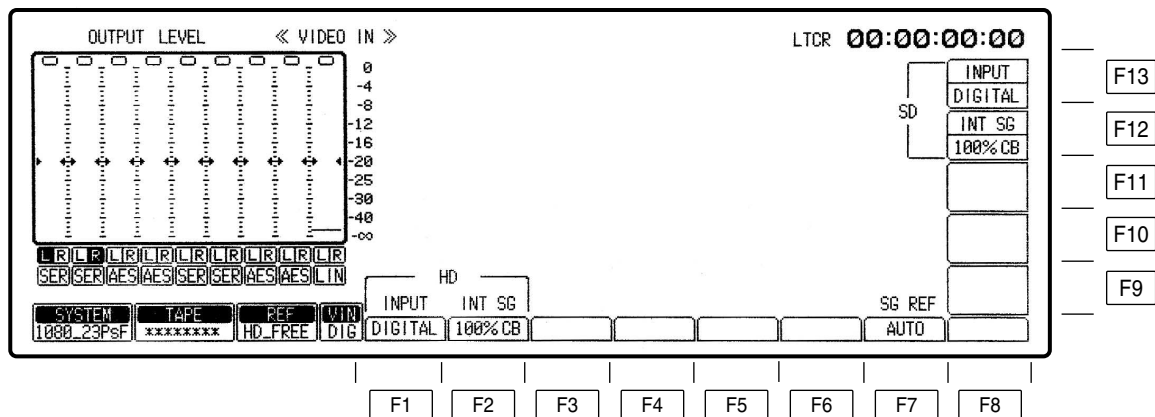
AUDIO OUT

• AUDIO IN CUE INPUT SELECT メニュー

AUDIO IN F7

# VIDEO IN メニュー

VIDEO IN キーを押すとメニューが出ます。



# VIDEO INメニュー

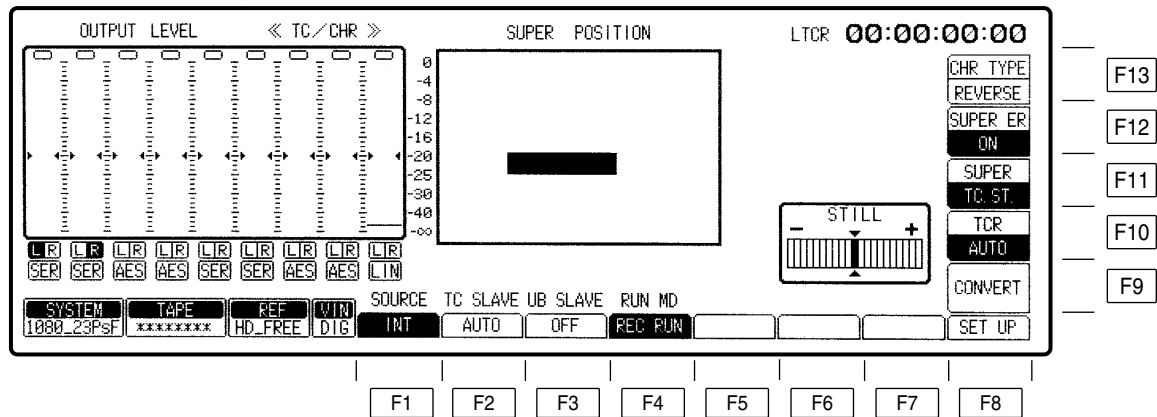
キー	項目	機能
F1	INPUT HDビデオ入力信号の 選択	DIGITAL : シリアル入力信号を選択します。 INT SG : 内部信号を選択します。
F2	INT SG HD内部信号の種類 選択	75%CB : 75%カラーバーを選択します。 100%CB : 100%カラーバーを選択します。 RAMP : ランプ信号を選択します。 MULT-BST : マルチバーストを選択します。 BLACK : ブラックバーストを選択します。 SIF PLL : シリアルインターフェースPLLチェック用信号を選択 します。 SIF EQ : シリアルインターフェースイコライザチェック用信号を 選択します。 SMPTE CB*1 : SMPTE カラーバーを選択します。
F3 ~ F6		
F7	SG REF INT-SGの同期	AUTO : ビデオ入力信号があるときはINPUT信号に内部信号をロッ クさせ、ビデオ入力信号がないときは、OUT REF設定*2で 選択された信号にロックさせます。 OUTPUT : OU REF設定*2で選択された信号にロックさせます。
F8 ~ F11		
F12	INT SG SD内部信号の種類 選択	75%CB : 75%カラーバーを選択します。 100%CB : 100%カラーバーを選択します。 RAMP : ランプ信号を選択します。 MULT-BST : マルチバーストを選択します。 BLACK : ブラックバーストを選択します。 SIF PLL : シリアルインターフェースPLLチェック用信号を選択し ます。 SIF EQ : シリアルインターフェースイコライザチェック用信号を選 択します。 SMPTE CB : SMPTE カラーバーを選択します。
F13	INPUT SDビデオ入力信号の 選択	DIGITAL : シリアル入力信号を選択します。 INT SG : 内部信号を選択します。

\*1 720/59pフォーマット選択時、SMPTE CBは動作しません。

\*2 HOME SET UPメニューを参照してください。

# TC/CHR メニュー

TC/CHR キーを押すとメニューが出ます。





# TC/CHRメニュー

キー	項目	機能
F1	SOURCE 内部/外部タイム コード信号の選択	INT : 内蔵 TCG のタイムコードを使用します。 EXT LTC : TIME CODE IN 端子からの LTC タイムコードを使用します。 S LTC : シリアル信号に付加されている LTC タイムコードを使用します。(SD モード選択時は表示されません。) S VITC : シリアル信号に付加されている VITC タイムコードを使用します。(SD モード選択時は表示されません。) EXT VITC : VIDEO 信号に重畳されている VITC タイムコードを使用します。(HD モード選択時は表示されません。)
F2	TC SLAVE タイムコードの スレーブロック モードの設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ F1 (SOURCE) キーが「INT」のとき、AUTO と PRESET、SLAVE の表示が出ます。 AUTO : ジェネレータはリーダーの読み取った値にロックします。この場合、タイムコードの設定は行えません。(編集時のみ) ただしノーマル記録時にはジェネレータの設定は自由に行えます。 PRESET : ジェネレータはリーダーの読み取り値にロックしません。ジェネレータの設定が自由に行えます。 SLAVE : ジェネレータはリーダーの読み取った値にロックします。この場合、タイムコードの設定は行えません。</li> <li>-----</li> <li>・ F1 キーが「EXT LTC」のとき、SLAVE と DIRECT の表示が出ます。 SLAVE : ジェネレータは外部 LTC タイムコードにロックします。(外部入力がないとき、E-TC の時間データが点滅します。) DIRECT : 外部 LTC タイムコードをそのまま記録します。(外部入力がないとき、E-TC : * * : * * : * * : * * 表示になります。)</li> <li>-----</li> <li>・ F1 キーが「S VITC」、「S LTC」または「EXT VITC」のとき、このキーは表示されません。 この場合、ジェネレータ値は常に外部 VITC または LTC タイムコードにロックします。</li> </ul>
F3	UB SLAVE ユーザービットの ロック	ON : ユーザービットはリーダー (TCR) の読み取ったユーザービット値や外部のユーザービット値にロックし、設定できません。 OFF : ジェネレータはリーダーの読み取り値にロックしません。ユーザービット値は自由に設定できます。
F4	RUN MD タイムコードの歩進	REC RUN : 記録時のみタイムコードを歩進させます。 FREE RUN : 時計と同じように、常に歩進させます。
F5	DF MD* ドロップ・ ノンドロップ フレームの選択	F1 (SOURCE) キーが「INT」を選択している時のみ有効です。 ON : ドロップフレームモードになります。 OFF : ノンドロップフレームモードになります。 ・ F1 キーが「EXT LTC」、「S VITC」または「S LTC」を選択しているときは、外部タイムコードのドロップ/ノンドロップフレームモードに従います。

\*1 1080/23psf、1080/23p、1080/24psf、1080/24p、1080/25psf、1080/25pおよび1080/50iシステムフォーマット時は表示されません。

# TC/CHRメニュー

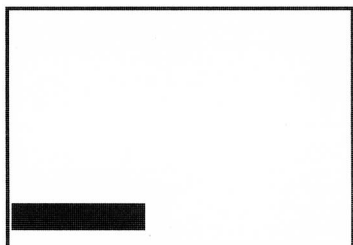
キー	項目	機能
F6	CF BIT* <sup>1</sup> 記録時のカラー フレームビットの ON/OFF設定	ON : 記録時にCF BITを記録します。 OFF : 記録時にCF BITを記録しません。 ・F1キーが「EXT LTC」、「S VITC」または「S LTC」を選択しているときは、 外部のカラーフレームビットに従います。
F7		
F8	SET UP	TC/CHR SET UPメニューに移行します。
F9	CONVERT* <sup>2</sup>	TC/CHR CONVERTメニューに移行します。
F10	TCR タイムコードの読み 取りモード選択	LTC : 常にLTCを読みます。 AUTO : 低速時はVITCを優先的に読み、読めないときはLTCを読みます。 VITC : 常にVITCを読みます。 ・いずれの設定にしても、タイムコードが読み取れない場合は、コントロール信号で補正した値を読み取ります。(補間モードになり、HOMEメニューに「INTRP」が表示されます。)
F11	SUPER スーパーインポーズ の設定	TC.ST : タイムコードとVTR動作モードをスーパーインポーズします。 TC.ST.RT : タイムコード、VTR動作モードおよびテープ残量時間をスーパーインポーズします。 TC.UB : タイムコードとユーザズビットをスーパーインポーズします。 TC.TC : タイムコードを2段表示します。 オリジナルのタイムコード情報とコンバートしたフォーマットのタイムコード情報を同時に表示することができます。 (次ページのノートを参照してください。) TC : タイムコードのみスーパーインポーズします。 OFF : スーパーインポーズ表示しません。
F12	SUPER ER	ON : ワーニング表示を画面にスーパーインポーズします。 OFF : ワーニング表示をスーパーインポーズしません。
F13	CHR TYPE スーパーインポーズす る文字のタイプを選択	REVERSE : 黒抜きの背景がある文字になります。 INTENSE : 強調文字になります。

\*<sup>1</sup> 480/59.94i 選択時のみ表示します。

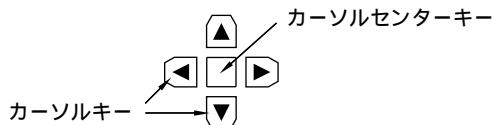
\*<sup>2</sup> 1080/23psf、1080/23p、1080/24psf、1080/24p、1080/25psf、1080/25pおよび1080/50iシステムフォーマット時のみ表示されます。

# TC/CHR メニュー

## スーパーインポーズ位置の変更



(1) カーソルキーで位置を移動させます。



- ・カーソルキーを押し続けるとカーソルは速く移動します。
- ・カーソルセンターキーを押すと、初期の位置に戻ります。

## タイムコードの表示とVTRの動作モード

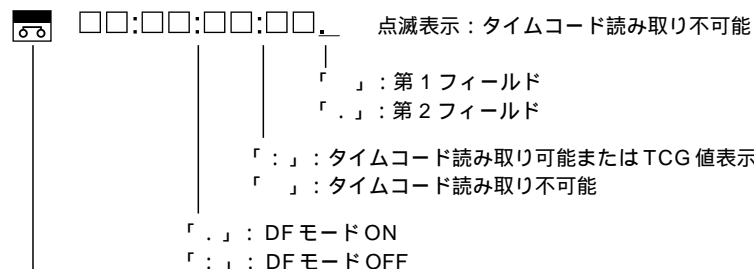
希望に応じて、タイムコードとVTRの動作モードを表示します。

### タイムコードの表示

CTL1 : コントロール信号 1	TCG : タイムコードジェネレータの発生値
CTL2 : コントロール信号 2	LUBG : LTCユーザービットの発生値
LTCR : LTCタイムコードの読み取り値	VUBG : VITCユーザービットの発生値
LUBR : LTCユーザービットの読み取り値	EXTC : 外部タイムコード値
VTOR : VITCタイムコードの読み取り値	EXUB : 外部ユーザービット値
VUBR : VITCユーザービットの読み取り値	

・「秒」と「フレーム」の間の「:」はタイムコードリーダーの読み取り状態を示します。

時 分 秒 フレーム



テープに記録されたオリジナルのタイムコードであることを表します。このカセットマークがないタイムコード表示の場合は、コンバートされたタイムコード値であることを表します。  
(CTL、UB設定時は消えます。)

<ノート>

### タイムコードの2段表示

上段 10 : 04 : 24 : 29  
下段 10 : 04 : 24 : 23

上段は常にコンバート処理されたタイムコードを表示します。

下段はオリジナルのタイムコード/コンバート処理されたタイムコードを切り替えて表示させることができます。

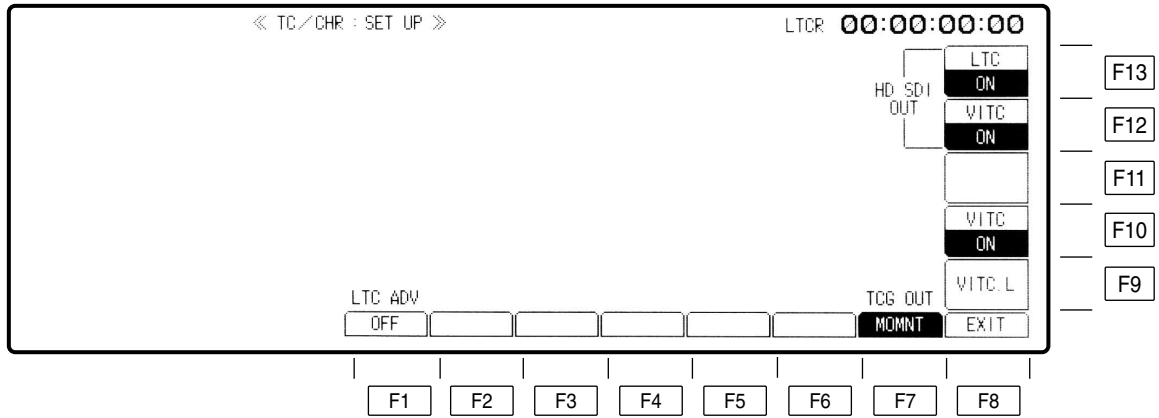
TC/CHR CONVERTメニューのF11、F12キーの設定によって下記のような表示パターンとなります。

1080/23p (psf) 1080/24p (psf)	1080/25p (psf) 1080/50i	左のシステムフォーマット以外
30フレームカウントTC 24フレームカウントTC	25フレームカウントTC 24フレームカウントTC	オリジナルの30フレームカウントTC オリジナルの30フレームカウントTC
または 30フレームカウントTC 30フレームカウントTC	または 25フレームカウントTC 25フレームカウントTC	

# TC/CHR SET UP メニュー

TC/CHR    F8    キーを押すとメニューが出ます。

SET UP    F5    キーを押すとメニューが出ます。



# TC/CHR SET UP メニュー

キー	項目	機能
F1	LTC ADV* <sup>1</sup> LTC OUT 出力 位相の設定 (ADV させるモード を選択)	<p>記録および編集モード時の TC (LTC) 出力位相を調整します。(テープに記録する位相は変わりません。また HD/SD 信号上に重畳されている VITC/LTC の位相には影響を与えません。)</p> <p>入力映像信号に対し、出力映像信号は数フレームの時間遅延が発生します。本機は TC 出力をどちらの位相にも合わせることができ、本メニューで入力位相に合わせるモードを選択します。このため、タイムコード出力位相を入力(記録)信号(ADV)に合わせるか、もしくは映像出力(OFF)に合わせるかを選択します。</p> <p>EDIT_REC : ノーマル記録時、または編集モード(インサート、アセンブル)選択時タイムコードの出力位相を入力(記録)信号に合わせます。同一入力映像信号を同一タイムコードで、もう一台の VTR に記録する時に使用します。タイムコード出力を別の VTR のタイムコード入力に接続します。</p> <p>REC : タイムコード出力位相を記録モード時の入力(記録)信号に合わせます。編集モード時は映像出力位相に合わせます。</p> <p>EDIT : タイムコード出力位相を編集モード時の入力(記録)信号に合わせます。記録モード時は映像出力位相に合わせます。</p> <p>OFF : タイムコード出力位相を映像出力位相に合わせます。本機出力の映像およびタイムコード(LTC)を別の VTR で記録する時などに使用できます。</p>
F2 ~ F6		
F7	TCG OUT	<p>INPUT CHECK キー *<sup>2</sup> で TCG 表示と LTC 出力をラッチするかどうかを選択します。</p> <p>MOMNT : キーを押している間のみ INPUT CHECK モードになります。</p> <p>LATCH : INPUT CHECK キーを押すと INPUT CHECK モードとなり、キ - を離してもモードは保持されます。EJECT、STBY ON/OFF、STOP モード以外、または HOME メニューの F1 (OUTPUT) を押すと解除されます。</p>
F8	EXIT	TC/CHR メニューに戻ります。

\*<sup>1</sup> 現在は動作しません。(メニューは変わりますが、動作は「EDIT\_REC」固定になっています。)

\*<sup>2</sup> 映像信号は SD SDI MONITOR OUT または HD SDI MONITOR OUT 端子で、音声信号は MONITOR 端子と HEADPHONES 端子で入力信号をチェックでき、INPUT CHECK キーを押している間入力信号に切り替わります。

< ノート : LTC\_ADV 機能について >

LTC ADV モード	LTC_OUT と VIDEO_OUT の位相	
	REC モード	編集モード
OFF	同位相	同位相
REC	ADV	同位相
EDIT	同位相	ADV
EDIT_REC	ADV	ADV

# TC/CHR CONVERT メニュー

---

## TC SYNC 値と SYNC PHASE の設定について

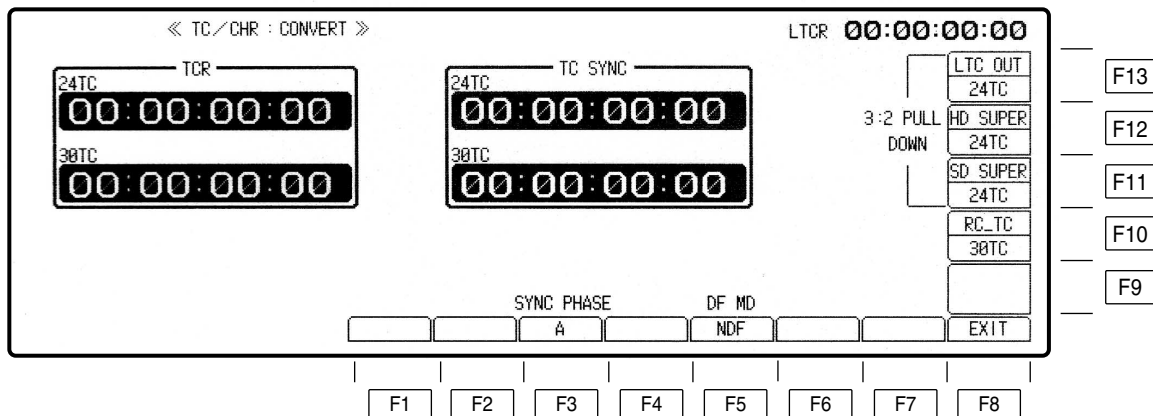
1080/23psf (p) 1080/59i (480/59i) 1080/24psf (p) 1080/60i へ変換する場合 TC も同様に変換処理することになりますので変換時に基準となる時間情報 (TC SYNC 値) と変換出力映像の 3:2 PULL DOWN シーケンス (SYNC PHASE) を入力する必要があります。

## TC SYNC 値の設定

変換時に基準となる変換前の 24 フレームカウントの TC (24TC) 値と、変換後の 30/25 フレームカウントの TC (30TC)/(25TC) 値を入力します。

# TC/CHR CONVERT メニュー

TC/CHR [F9] キーを押すとメニューが出ます。カーソルセンターキーを押すと 24TC 表示がハイライト表示されます。数字キーとカーソルキー (◀、▶) でタイムコードを設定し、[ENT] キーを押してタイムコードを確定させます。カーソルキー (▲、▼) で 30TC/25TC 値の設定に移り、同じ操作でタイムコードを設定し、確定させます。



キー	項目	機能
F1 ~ F2		
F3	SYNC PHASE*	3:2 変換シーケンスの基準を設定します。 A : A フレームを基準にタイムコード変換します。 B : B フレームを基準にタイムコード変換します。 C : C フレームを基準にタイムコード変換します。 D : D フレームを基準にタイムコード変換します。
F4		
F5	DF MD*	1080/23psf (p) \ 1080/24psf (p) からの 3 : 2 プルダウン出力に対して、TC 変換して出力するドロップフレームを選択します。 DF : ドロップフレームになります。 NDF : ノンドロップフレームになります。
F6 ~ F7		
F8	EXIT	TC/CHR メニューに戻ります。
F9		
F10	RC_TC*	リモート端子 (RS-422 等) に出力するタイムコードを選択します。 24TC : オリジナルの 24 フレームカウントのタイムコードを出力します。 30TC : コンバートした 30 フレームカウントのタイムコードを出力します。
F11	SD SUPER	SD モニターに出力するタイムコードを選択します。 24TC : オリジナルの 24 フレームカウントのタイムコードを出力します。 30TC/(25TC) : コンバートした 30/(25) フレームカウントのタイムコードを出力します。
F12	HD SUPER	HD モニターに出力するタイムコードを選択します。 24TC : オリジナルの 24 フレームカウントのタイムコードを出力します。 30TC/(25TC) : コンバートした 30/(25) フレームカウントのタイムコードを出力します。
F13	LTC OUT*	LTC 出力端子に出力するタイムコードを選択します。 24TC : オリジナルの 24 フレームカウントのタイムコードを出力します。 30TC : コンバートした 30 フレームカウントのタイムコードを出力します。

\* 50i/25psf (p) では表示されません。

# SYSTEM SET UP メニュー

SET UP

F4 キーを押すとメニューが出ます。

メニュー内に現在設定されているシステムフォーマットおよび映像出力フォーマットが表示されます。

The screenshot shows the 'SYSTEM SET UP' menu with the following layout:

- Top bar: « SET UP : SYSTEM » and LTR 00:00:00:00
- Left side:
  - FORMAT menu with VIDEO and AUDIO options.
  - VIDEO OUTPUT menu with options: HD SDI MAIN, HD SDI MONI, SD SDI MAIN, SD SDI MONI, and COMPOSITE.
- Center:
  - < VIDEO >: 1080Psf, 1080P
  - < HD SDI >: 1080/23.98Psf, 1080/59I, 720/59P
  - < HD MONI >: 1080/23.98Psf, 1080/59.94I
  - < SD SDI >: 525I, 525P
  - Frequency: 59.94, 23.98, 24, 50, 25
  - SYSTEM menu with options: FREQ, VIDEO, AUDIO, HD SDI, HD MONI, SD SDI, and EXIT.
- Right side:
  - Buttons for F13, F12, F11, F10, and F9.
  - Options: PB AUTO, ON, A REC GRD, and CST.C.BIT.
- Bottom: Function keys F1 through F8.



# SYSTEM SET UP メニュー (139 ~ 140 ページの設定フローチャートおよび出力状態表を参照してください。)

別売品 HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700P の有無により動作が異なります。

キー	項目	機能
F1	FREQ* SYSTEM の周波数 選択	システムの周波数を選択します。 F キーを押しながら F1 キーを押すと、周波数選択ウィンドウが開きます。 カーソルキーを使用して周波数を選択します。 59.94 : 59.94Hz システムを選択します。 23.98 : 23.98Hz システムを選択します。 24 : 24Hz システムを選択します。 50 : 50Hz システムを選択します。 25 : 25Hz システムを選択します。 BS キーを押しながら ENT キーを押すことにより確定になります。 59.94 を選択した場合は、ビデオの記録フォーマット選択ウィンドウが開きます。 23.98、24 または 25 を選択した場合は、PsF か P (Non PsF) を選択するウィンドウが開きます。 23.98p、24p (Non PsF) を選択した場合、または 25p、25PsF を確定した後さらに 50 を選択した場合は、システムフォーマットを確定し、ウィンドウを閉じます。
F2		
F3	VIDEO ビデオの記録フォー マット選択	ビデオの記録フォーマットを選択します。 F キーを押しながら F3 キーを押すと、ビデオの記録フォーマット選択ウィンドウが開きます。 カーソルキーを使用してフォーマットを選択します。システム周波数設定が 59.94 の時は以下のメニューから選択します。 1080I : 1080/59.94i の記録フォーマットを選択します。 525I : 525/59.94i の記録フォーマットを選択します。 720P : 720/59.94p の記録フォーマットを選択します。 BS キーを押しながら ENT キーを押すことにより確定になります。 1080I または 720P を選択した場合は、オーディオの記録フォーマット選択ウィンドウが開きます。 525I を選択した場合は、525/59i としてシステムフォーマットを確定し、ウィンドウを閉じます。 システム周波数設定が 23.98、24、25 の時は PsF 信号か P 信号かを選択します。確定は BS キーを押しながら ENT キーを押します。
F4	AUDIO オーディオの記録 フォーマット選択	オーディオの記録フォーマットを選択します。 F キーを押しながら F4 キーを押すと、オーディオの記録フォーマット選択ウィンドウが開きます。 カーソルキーを使用してフォーマットを選択します。(1080/59i または 720/59p フォーマット選択時のみ選択可能です。) 24bit/8CH : オーディオ 8ch フォーマットを選択します。 20bit/4CH : オーディオ 4ch フォーマットを選択します。 BS キーを押しながら ENT キーを押すことにより確定になります。 システムフォーマットを 720P に選択した場合は、SD_SD1_MAIN 出力の選択ウィンドウが開きます。 システムフォーマットを 1080I に選択した場合は、システムフォーマットを確定し、選択ウィンドウを閉じます。

\* FREQ 設定はカセット EJECT 状態でしか受け付けません。

カセット挿入状態で変更しようとした場合は、“EJECT CASSETTE TO CHANGE FORMAT” とワーニングが表示されます。

# SYSTEM SET UP メニュー

キー	項目	機能
F5	HD SDI	<p>HD_SD_I_MAIN 出力フォーマットを選択します。 F キーを押しながら F5 キーを押すと、HD_SD_I_MAIN の出力フォーマット選択ウィンドウが開きます。 カーソルキーを使用してフォーマットを選択します。(システム周波数設定が 23.98PsF または 1080/24PsF 設定のみ選択可能です。) 1080/23.98PsF(1080/24PsF): 1080/23.98PsF(1080/24PsF) を出力します。 1080/59.94i(1080/60i): 1080/59.94i(1080/60i) を出力します。 720/59.94P(720/60P): 1080/59.94p(720/60p) を出力します。 1080/23.98PsF(1080/24PsF) を選択した場合は、HD_SD_I モニター出力の選択ウィンドウが開きます。 1080/59i または 720/59P を選択した場合は、SD_SD_I_MAIN 出力の選択ウィンドウが開きます。 それ以外を選択した場合は、BS キーを押しながら ENT キーを押すことにより確定になります。同時にウィンドウを閉じます。</p>
F6	HD MONI	<p>HD_SD_I モニターに出力するフォーマットを選択します。 F キーを押しながら F6 キーを押すと、HD_SD_I モニター出力の選択ウィンドウが開きます。 カーソルキーを使用して出力フォーマットを選択します。(HD_SD_I メイン出力がシステムフォーマットと同一設定で 1080/23.98PsF、1080/24PsF の時のみ選択可能です) 1080/23.98PsF(1080/24PsF): 1080/23.98PsF(1080/24PsF) を出力します。 1080/59.94i(1080/60i): 1080/59.94i(1080/60i) を出力します。 1080/23.98PsF(1080/24PsF) を選択した場合は、SD_SD_I_MAIN の出力フォーマット選択ウィンドウが開きます。 それ以外を選択した場合は、BS キーを押しながら ENT キーを押すことにより確定になります。同時にウィンドウを閉じます。</p>

任意の選択ウィンドウが開いた状態で、C キーを押すことにより選択状態を以前設定したデータに戻すことができます。(BS キーを押しながら ENT キーを押して確定した状態でも、関連したウィンドウが開いた状態では上記のような動作になります。)

# SYSTEM SET UP メニュー

## SYSTEM FORMAT&ビデオ出力状態表

[HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700P (別売品) 装着時]

SYSTEM フォーマットフロント設定							HD_SDI_OUT	HD_MONI_OUT	SD_SDI_OUT	SD_SDI_MONI	CMPST
F1: FREQ	F3: VIDEO	F4: AUDIO	F5: HD SDI	F6: HD MONI	F7: SD SDI						
59.94	1080I	4ch	(1080/59.94i)	(1080/59.94i)	(525i)	1080/59.94i	1080/59.94i	525/59.94i	525/59.94i	NTSC	
		8ch									
	720P	4ch	(720/59.94p)	(720/59.94p)	525i	720/59.94p	720/59.94p	525/59.94i			
		525p			525/59.94p						
		8ch			525i			525/59.94i			
525p	525/59.94p										
525I	(4ch)	(1080/59.94i)	(1080/59.94i)	(525i)	1080/59.94i	1080/59.94i	525/59.94i				
23.98	1080PsF	(8ch)	1080/23.98psf	1080/23.98psf	525i	1080/23.98psf	1080/23.98psf	525/59.94i	525/59.94i	NTSC	
				525p	1080/23.98psf		525/59.94p	525/59.94i			
			1080/59.94i	(1080/59.94i)	(****)	1080/59.94i	無信号	無信号			
			720/59.94p	(720/59.94p)	(****)	720/59.94p	720/59.94p	720/59.94p	525/59.94i	525/59.94i	NTSC
	525p	525/59.94p	525/59.94i								
	525i	525/59.94i	525/59.94i								
	525p	525/59.94p	525/59.94i								
	1080P	(8ch)	(1080/23.98p)	(1080/23.98p)	(525i)	1080/23.98p	1080/23.98p	525/59.94i	525/59.94i		
24	1080PsF	(8ch)	1080/24psf	1080/24psf	(****)	1080/24psf	1080/24psf	無信号	無信号	無信号	
				1080/60i	(****)		1080/60i				1080/60i
			1080/60i	(1080/60i)	(****)	1080/60i	1080/60i				
	720/60p	(720/60p)	(****)	720/60p	720/60p						
1080P	(8ch)	1080/24p	1080/24p	(****)	1080/24p	1080/24p					
25	1080PsF	(8ch)	1080/25psf	1080/25psf	(625i)	1080/25psf	1080/25psf	625/50i	625/50i	PAL	
	1080P	(8ch)	1080/25p	1080/25p	(625i)	1080/25p	1080/25p				
50	(1080I)	(8ch)	(1080/50i)	(1080/50i)	(625i)	1080/50i	1080/50i	625/50i	625/50i	PAL	

## SYSTEM FORMAT&ビデオ出力状態表

[HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700P (別売品) を装着していない時]

SYSTEM フォーマットフロント設定							HD_SDI_OUT	HD_MONI_OUT	SD_SDI_OUT	SD_SDI_MONI	CMPST
F1: FREQ	F3: VIDEO	F4: AUDIO	F5: HD SDI	F6: HD MONI	F7: SD SDI						
59.94	1080I	4ch	(1080/59.94i)	(1080/59.94i)	(****)	1080/59.94i	1080/59.94i	無信号	無信号	無信号	
		8ch									
	720P	4ch	(720/59.94p)	(720/59.94p)	(****)	720/59.94p	720/59.94p				
		8ch									
	525I	(4ch)	(****)	(****)	525i	BLACK	BLACK				525/59.94i
23.98	1080PsF	(8ch)	(1080/23.98psf)	1080/23.98psf	(****)	1080/23.98psf	1080/23.98psf				
	1080P	(8ch)	(1080/23.98p)	(1080/23.98p)	(****)	1080/23.98p	1080/23.98p				
24	1080PsF	(8ch)	(1080/24psf)	(1080/24psf)	(****)	1080/24psf	1080/24psf	無信号	無信号	無信号	
	1080P	(8ch)	(1080/24p)	(1080/24p)	(****)	1080/24p	1080/24p				
25	1080PsF	(8ch)	(1080/25psf)	(1080/25psf)	(****)	1080/25psf	1080/25psf				
	1080P	(8ch)	(1080/25p)	(1080/25p)	(****)	1080/25p	1080/25p				
50	1080I	(8ch)	(1080/50i)	(1080/50i)	(****)	1080/50i	1080/50i				

< ノート >

( ) 内は自動的に設定されますので選択することはできません。

# TEST IC CARD メニュー

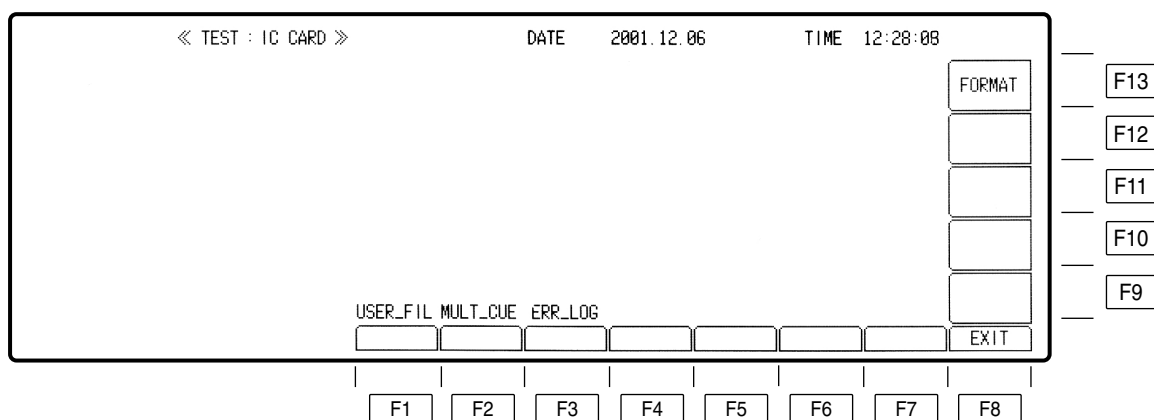
## 準備

本機ではエラーログ発生時、TC 情報に加えてエラーログの発生した日時・時刻の情報も記録させることができます。このためには、日付・時刻の初期登録が必要です。また 1 週間以上、本機の電源を「切」にした場合は、再登録が必要となりますのでご注意ください。

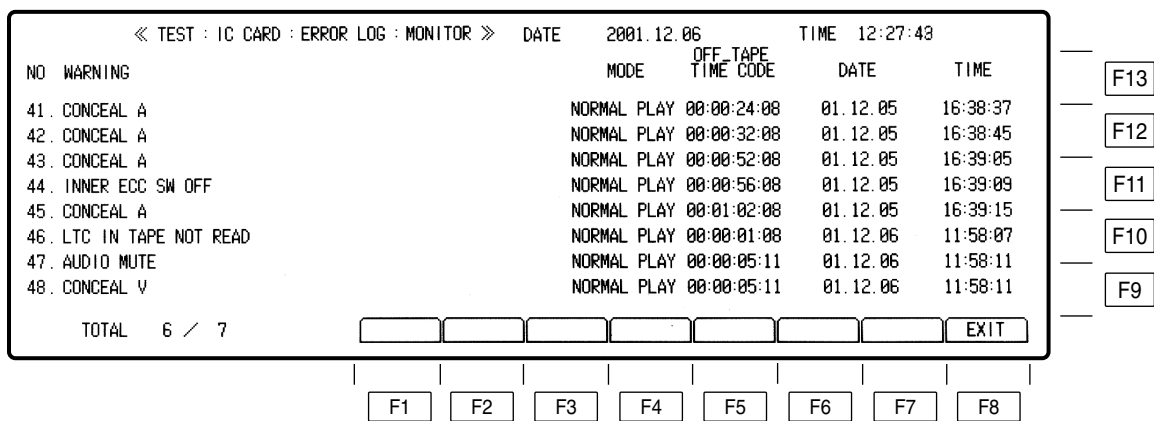
## 日付・時刻の登録方法

**TEST** **F13** キーを押すとメニューが出ます。

- カーソルセンターキーを押します。  
フロントパネルの中央上部にある年表示が白抜き表示となります。
- 数字キーで日付・時刻を変更します。  
変更する箇所はカーソル (◀、▶) キーで白抜き位置を移動させ、数字キーで変更します。
- 日付・時刻情報の変更・登録が終わると、ENT キーを押して情報を確定させます。



## \*TEST IC CARD ERROR\_LOG MONITOR メニュー



# TEST IC CARD メニュー

キー	項目	機能
F1	USER_FIL	IC カードを使ったユーザーファイルの管理を行います。 F1 キーを押すと、TEST IC CARD USER FILE メニューに移行します。 ・カレント（現在のデッキの状態）のロード/セーブ、及び全登録ファイルのロード/セーブ機能があります。 ・デッキにユーザーファイルを転送するとき、SYS_H、SYS_SC を一緒に送るかどうかを選択することができます。
F2	MULT_CUE	100 個の CUE_POINT (MULTI_CUE) を IC カードにロード/セーブします。 F2 キーを押すと、TEST IC CARD MULTI CUE メニューに移行します。 ・全てのページを一度に転送または転送するページを選択することができます。
F3	ERR_LOG	ワーニング発生時、デッキモード、タイムコード時間、種類、実時間（日付、時刻）をメモリーする機能があります。 F3 キーを押すと、TEST IC CARD ERROR_LOG メニューに移行します。 ・50 ステップのデータをメモリーする機能があります。 ・メモリーバッファ一杯になったとき、新規ワーニングを、古いものを消して更新するかどうかの切り替え機能があります。 ・このデータを IC カードにメモリーする機能があります。 ・IC カードのデータをモニターする機能があります。
F4 ~ F7		
F8	EXIT	TEST メニューに戻ります。
F9 ~ F12		
F13	FORMAT	IC カードのフォーマットを行います。IC カードのデータは全て消えますので注意してください。 F キーと C キーと F13 (FORMAT) キーの同時押しで IC カードのフォーマットを行います。

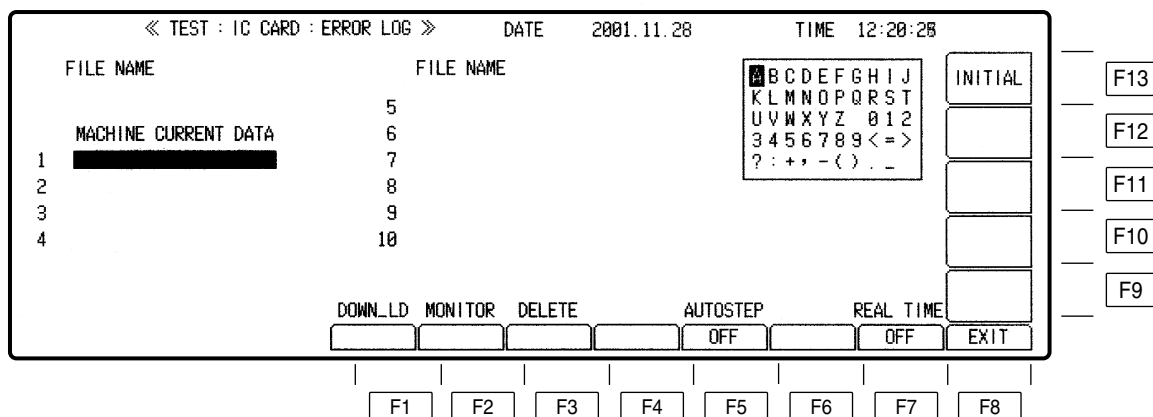
## <ノート>

本機でフォーマットした IC カードを、AJ-HD2000/2700 等の他機種へ装備することは避けてください。逆に、他機種でフォーマットされた IC カードを本機へ装備することも避けてください。

ファイル構造が異なり VTR の動作異常を引き起こす可能性があります。

# TEST IC CARD ERR LOG メニュー

TEST F13 F3 キーを押すとメニューが出ます。



キー	項目	機能
F1	DOWN_LD	VTR から IC カードへ現在メモリーしているデータをロードします。 このとき合わせて SERIAL No、ソフトバージョンとオペレーション時間もセーブします。MACHINE CURRENT DATA (IC CARD にセーブされているファイルまたは VTR の現在のデータ) 以外のファイルでは ERROR LOG データが無いときは、“ERROR” 表示を行いダウンロードできません。 ・ F キーと同時押しで実行します。
F2	MONITOR	IC カードにセーブされている ERROR LOG データを表示します。 MACHINE CURRENT DATA (IC CARD にセーブされているファイルまたは VTR の現在のデータ) をダウンロード後、現在の VTR にメモリーされている ERROR LOG データを表示します。(20 ページの ERROR_LOG MONITOR メニュー参照) ・ F キーと同時押しで実行します。
F3	DELETE	IC カードにセーブされている ERROR LOG データを消去します。 ・ F キーと同時押しで実行します。
F4		
F5	AUTOSTEP	ワーニングがバッファ容量を超えたとき、古いものから順に消して更新するかどうか選択をします。 ON : 常に、更新します。(50 番目のステップが最新のデータです。) OFF : 容量が一杯になった場合は、更新しません。
F6		
F7	REAL TIME	ON : エラーログに TC データだけでなく日付・時刻データも加えます。 OFF : エラーログに日付・時刻データは加えません。(TC 情報のみ)
F8	EXIT	TEST IC CARD メニューに戻ります。
F9 ~ F12		
F13	INITIAL	現在、VTR にメモリーしている過去の ERROR LOG データと現在表示中の ERROR LOG データを全て消去します。 INITIAL 実行後、ERROR LOG データが無い状態でダウンロードすると ERROR LOG データが無いため、“ERROR” を表示し、IC カードへのダウンロードはできません。ただし MACHINE CURRENT DATA へのダウンロードは可能です。



---

松下電器産業株式会社 AVC 社 システム事業グループ

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901-1161